

【入選作品】

にしきたショパン



将来をピアニストを目指し切磋琢磨する高校生の鍵太郎（けんたろう）と凜子（りんこ）
阪神淡路大震災により、二人の運命が大きく分かれてしまう。
鍵太郎は、腕の神経を傷めて作曲の道へ、凜子は留学をしピアニストへ・・・。

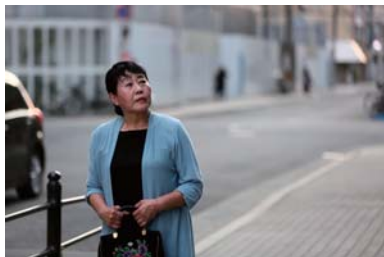
彼女が帰国し再会したとき、鍵太郎は大きく変わってしまっていたのだった。
竹本 祥乃 監督

はだかのおじさん



医者から余命宣告を受けた男は、自身の死を告げるためにひさしぶりに実家に帰省する。
素性を明かさず、村の行事へ子供たちと一緒に「はだかの王さま」の仮装で参加することになり・・・。
青木 伸和 監督

おせっかいチーム



ある出来事から、対人恐怖症を患っていた杉山。
彼にとって唯一の寛げる場は「カフェえがお」だった。
しかし店主の重子が、認知症の症状が出始めたのだ。
「カフェえがお」と重子を守るために、周りのおせっかいな人たちが立ち上がる。

「過去を忘れない」杉山は、「過去を忘れたくない」重子を救うことは出来るのか?!
現代の問題になっている認知症に、真正面から体当たりする人情溢れるシネマ。
上野 祐嗣 監督

たまの映像詩集「渚のバイセコー」



美しい瀬戸内海に面した“競輪の街”岡山県玉野市を舞台に全3話からなるオムニバス映画。
時代の変化についていけず、自分の居場所を見失いながらも、地元で懸命に生きようとする人々を、プロの競輪選手や吉本興業のお笑い芸人たちが熱演。

蔦 哲一朗 監督

虹が落ちる前に



売れないバンドを続ける気の弱い主人公は、自分の現状に満足はしていないながらも、自分の周りには仲間や大切な彼女がいることに甘え、「当たり前」の毎日を過ごしていた。ただ、心のどこかでそれがいつか無くなってしまおうのではと感じていたが、気付かないフリをしながら...

そして『ある』きっかけでその全てを無くしてしまう。それを取り戻せない事が分かってはいるが前に進む決断をし、『ある』曲を作り始める。

Koji Uehara 監督

【審査員】



島 敏光

(映画評論家、エッセイスト)



田中光敏

(映画監督、CM ディレクター)



坂本忠久

(映画プロデューサー)



川越一成

(カメラマン)



橋爪 吉生

(志摩ムービークルーズ会長)

審査員プロフィールは
こちら



主催：志摩ムービークルーズ

特別協賛：(株)石吉組